平成17年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 提案機関名 JAあしがら 1 2 2

記入不要

要望問題 梅の変色(褐変)対策について

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】

青梅の取り扱い時期の後半に収穫時は正常だが、出荷後に褐変する果実の発生があります。 原因も対応もわからないため早急に問題解決できるようお願いします。

1年以内 解決希望年限 2~3年以内 4~5年以内 5~10年以内 研究対応区分 研究所対応 委託研究 共同研究 その他 <u>対応を希望する研究機関名</u> 農業総合研究所(畜産研究所 水 根府川試験場 三浦試験場 津久井試験場) 水産総合研究所(内水面試験場 相模湾試験場) 自然環境保全センター

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業総合研究所

部 署:生産技術部

実施中 対応区分 実施 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可

試験研究課題名 の場合)

新栽培技術による低コスト・省力栽培技術の開発

(5)ウメの生理障害発生原因究明と対策技術の確立

ア ウメ「梅郷」陥没果の発生原因究明

<u>対応の内容等</u>

「梅郷」等の青ウメ用品種を中心に、樹上あるいは収穫後の果実に陥没症状が発生しており、 収穫期の高温、乾燥が原因とも考えられ、これまで農総研では発生原因究明のため、収穫前の 樹体へ断根処理や屋根かけ処理を実施し、陥没果の発生状況について検討してまいりました。 これまでの試験で「梅郷」の樹体内水分含量が他品種に比較し低く推移しており、水分スト レス等に対し障害が発生しやすい品種であることが分かってきましたが、樹体への乾燥処理に よる陥没症状の再現には至っておりません。果実の褐変も陥没果に至るまでの前期的症状と考 えられ、現在取り組んでいる課題の中で原因究明と対策技術の確立を進めたいと思います。 また、農総研のウメ圃場では本年も発生は軽微でしたが、現地では毎年発生が認められるよ

うで、連年発生園について圃場条件等の現地調査にご協力いただければと考えます。

解決予定年限 1年以内 | 2~3年以内 4~5年以内 5~10年以内

考